

# OpenSolaris 3分クッキング

## ☆レシピ 第8巻☆

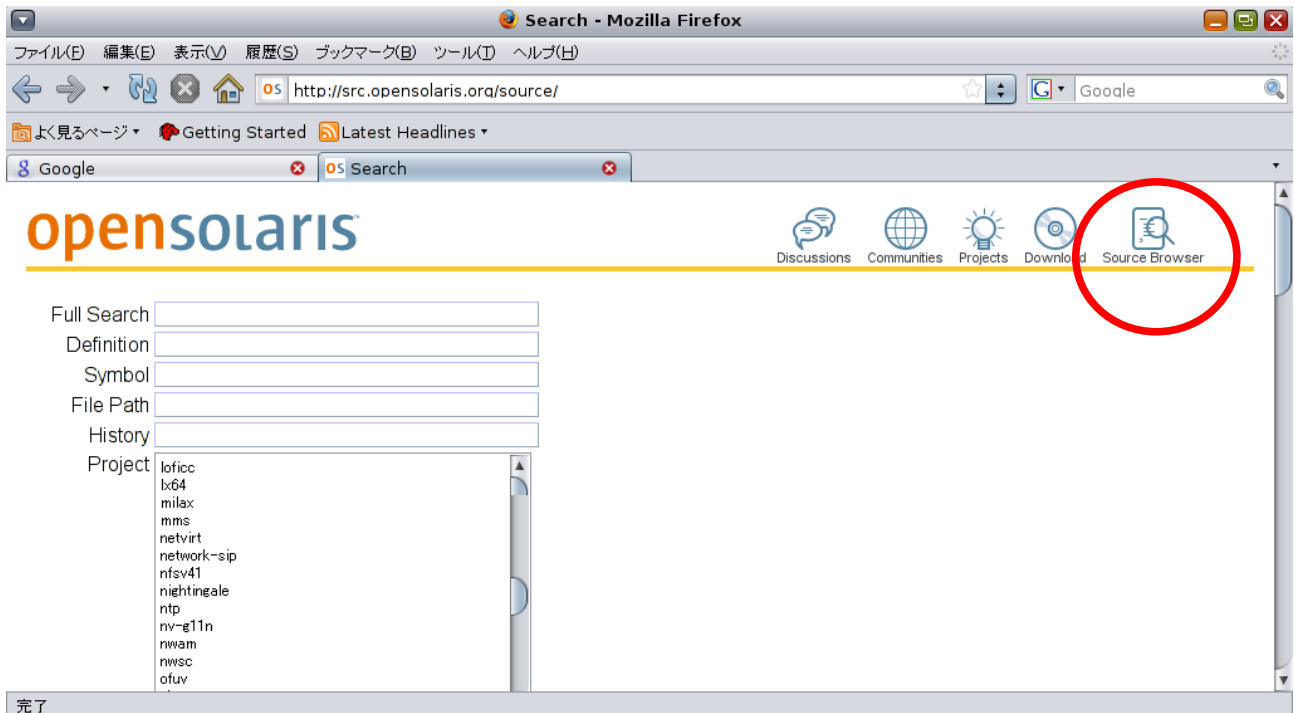
### OpenSolaris ポータルの歩き方 (その2)

「ソースブラウザーと  
バグデータベースリサーチ  
を使ってみましたの巻」

## Solaris 3分クッキング: OpenSolaris ポータルの歩き方 (その2)

今夜の3分クッキングも、<http://opensolaris.org> ポータルの内容を紹介します。今回は、前回紹介しきれなかった OpenSolaris のソースブラウザと、OpenSolaris 関連のバグのトラッキング方法について解説します。

### ソースブラウザの紹介



これ自身も OpenSolaris のプロジェクトである、OpenGrok という検索エンジンを使った OpenSolaris のソースコード・ブラウザです。結構検索も早く、コード中のシンボルからのリファレンスの機能も使えて便利です。ソースコードが読める人には、これだけでも十分に便利だと言われる方も多いです。

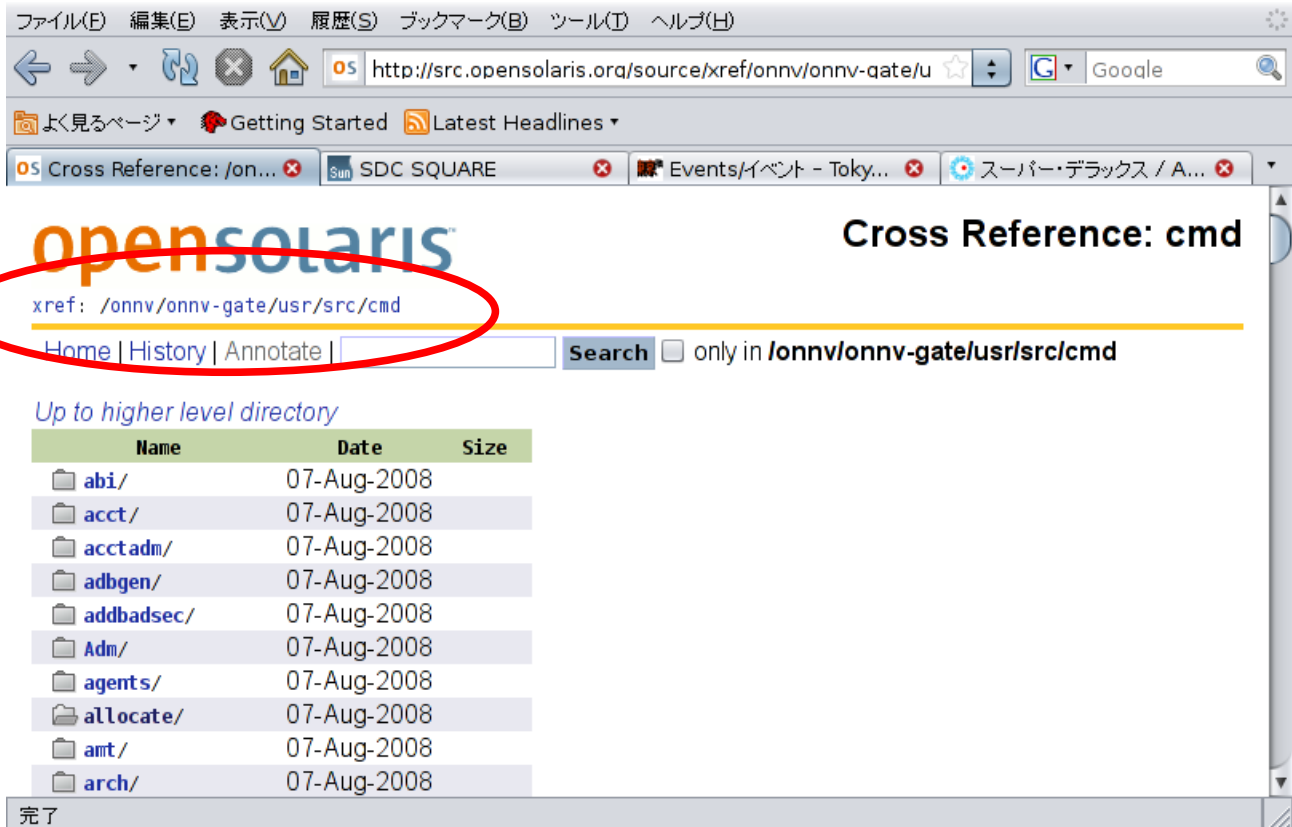
### ソースブラウザで参照できるソース

ON (OS/Net) Source	OpenSolaris の中核ともいえる ON ソース、コマンド、ライブラリ、またビルドに必要なツールのソースも参照できます。
JDS (Java Desktop System)	JDS のスペックファイルやドキュメントが参照できます。本体の GNOME のソースは参照できません。
Network Storage	Storage Management API や HBA ドライバーやストレージ製品のインターフェースとなるソースコードが参照できます。
Globalization	国際化や各国語化に必要なソースが参照できます。
SFW (Sun Freeware)	/usr/sfw 以下に置かれる Sun Freeware のソースが参照できます。
Companion	Sun Freeware (/usr/sfw 以外) のソースが参照できます。
Test	OpenSolaris の ON や Open HA Cluster の Test Suite (テストプログラム) のソースが参照できます。
HA Cluster	Open HA Cluster のソースが参照できます。

ソースブラウザから参照できるソースは、常に OpenSolaris からダウンロードできる最新のソースを反映しているわけではありませんが、定期的に内容は更新されているようです。ダウンロードしたソースからのビルドやデバッグが目的の場合は、直接最新ソースコードを見ることも必要になりますが、シンボルからの検索や、ソースの構造やコードの理解が目的の場合は、ブラウザを使った方が簡単な場合があります。

### ソースコードの参照方法

方法はいくつかあります。ページの冒頭が検索フィールドになっているので、はじめての方は戸惑うかもしれません。はじめての方は、ページ中段の ON (OS/Net) Sources の最初の “cmd” をクリックしてみてください。



コマンドのソースのトップディレクトリに移ります。図中 赤の円で示されているところに、参照中のディレクトリやソースファイルのパスが表示されます。例えば、ls (1) コマンドのソースを参照する場合、cmd -> ls -> ls.c で参照できます。

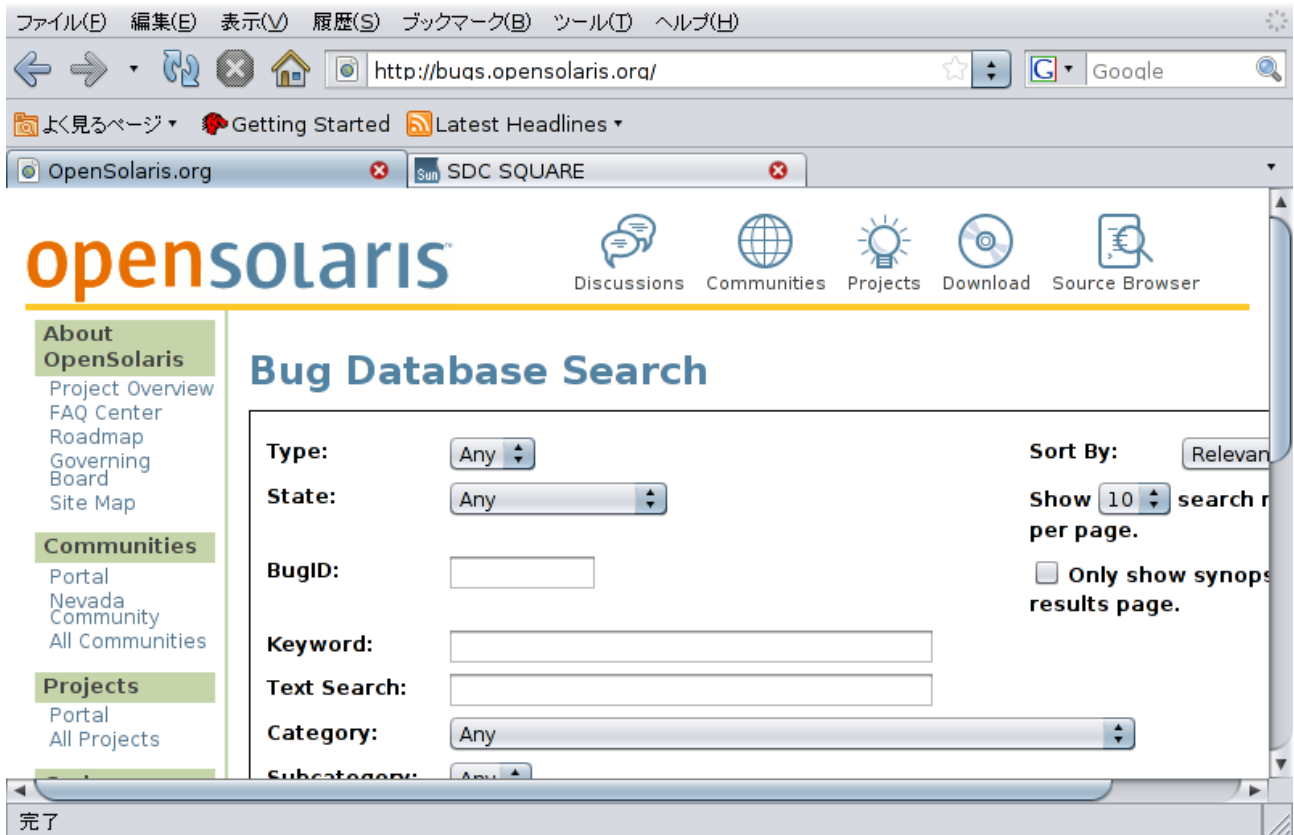
### 検索オプションの使い方

検索する場合は、適当な検索フィールドに文字列を入れて “Search” ボタンをクリックします。検索で使えるフィールドは、以下の通りです。複数指定することで絞り込みも可能です。

Full Search	文字列の全文検索	“Bill Joy” とか文字列ならなんでも
Definition	シンボル定義を検索	定義されているヘッダーファイルから探す
Symbol	シンボルを検索	使われているソースから全部探す
File Path	ソースファイルのパスを検索	usr/src/cmd とか ls.c で検索可
History	ログコメントの履歴を検索	BugID 修正関連ファイルが出てくることも。。
Project	OpenSolaris の各プロジェクトから検索	

## バグのトラッキング

OpenSolaris のバグを検索するには、<http://opensolaris.org> ページの左上の subsite にリンクが張られている “bug” をクリックするか <http://bugs.opensolaris.org> にアクセスします。



バグデータベースサーチを、気になるバグを検索してみましょう

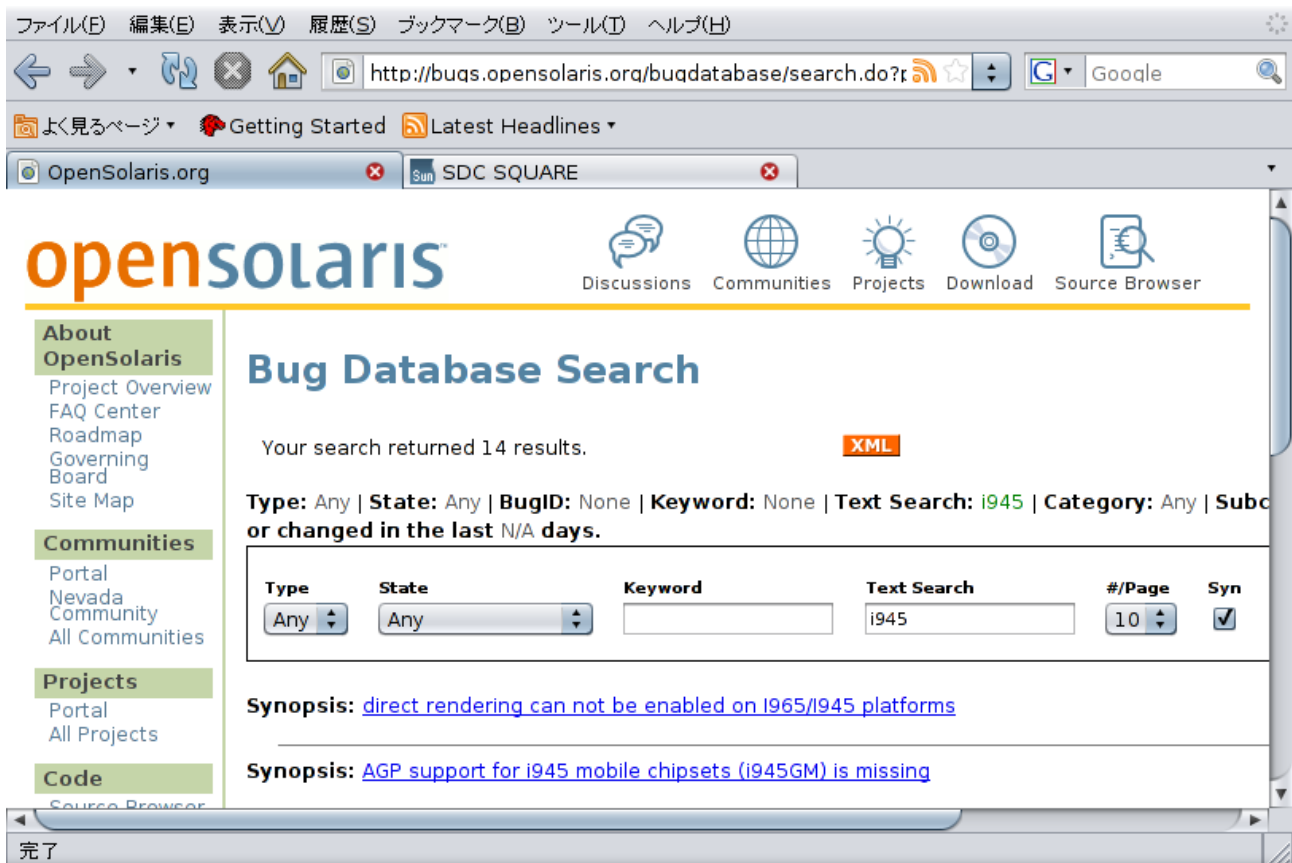
各フィールドを説明します。

Type	“Bug”（不具合）か“RFE”（改善要求）を選択できますが、検索する場合は Any でも可
State	11 レベルの状況から選択できます。検索する場合は Any でも可
BugID	BugID がわかっている場合は指定、不明の場合は空欄のまま
Keyword	プロジェクトチーム内の合い言葉でつけられることがあります、不明の場合は空欄のまま
Text Search	検索のための文字列を入れます。
Category	カテゴリーを選択できます。検索する場合は Any でも可
Subcategory	サブカテゴリーを選択できます。検索する場合は Any でも可

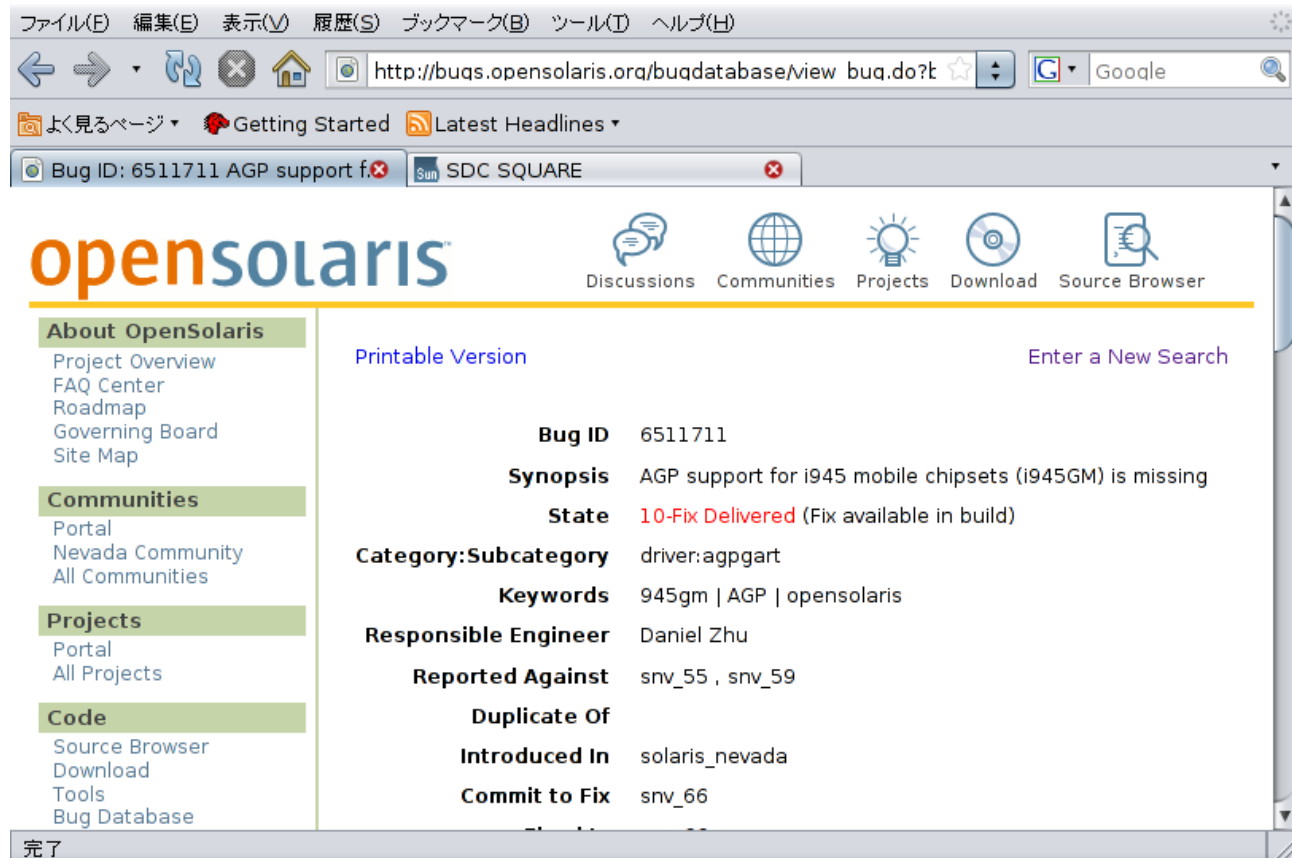
以下の例は、Text Search フィールドに “i945”（Intel の Graphics Chip の名称）を入れて、あとは Any のまま検索した例です。

[X] Only show synopsis in results page

にマークを入れて、バグの概略だけリスト表示するようにしています。

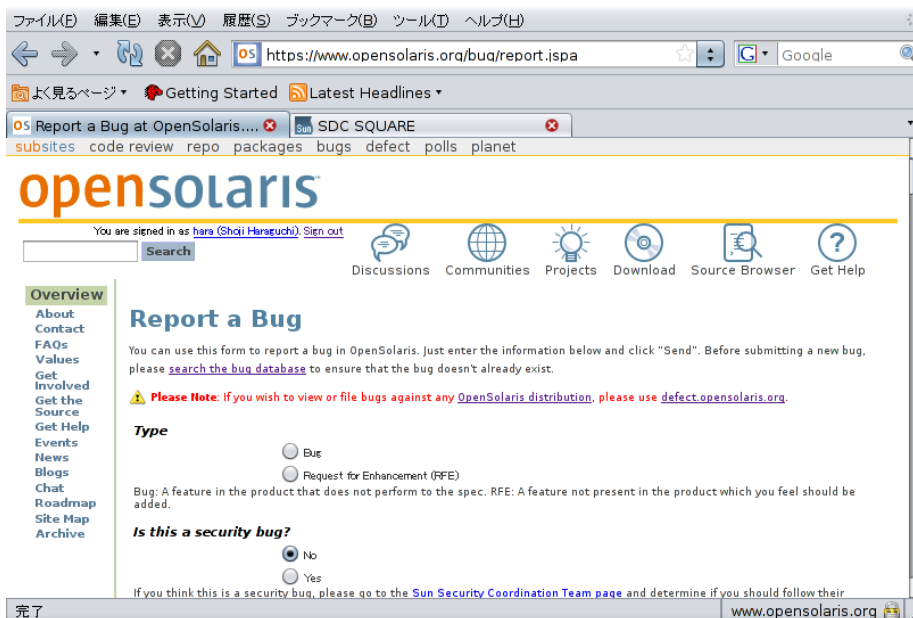


この例は、14件の検索結果が表示されました。  
Synopsis の内容をクリックすると、バグの状態と詳細が表示されます。



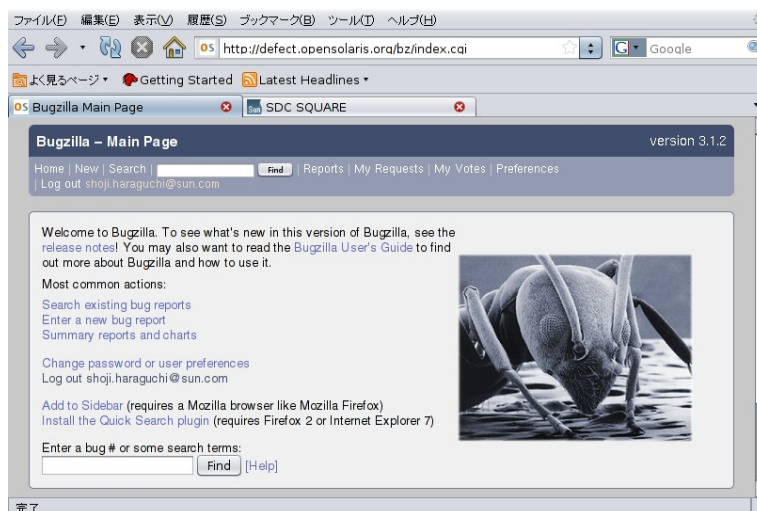
検索結果表示ページに、現れる“XML” ボタンをクリックすると、この検索結果のリストをフィード購読として登録も可能になります。頻繁に同じ検索をする必要がある場合には、ブラウザのライブブックマークに登録しておくとも便利かもしれません。

尚、バグを新規に登録する場合、<https://www.opensolaris.org/bug/report.jspa> にアクセスします。バグ登録には OpenSolaris へのユーザ登録が必要です。



## OpenSolaris Distribution のバグ検索と登録

[www.opensolaris.com](http://www.opensolaris.com) から提供される、OpenSolaris Distribution (2008.05 リリースなど)用のバグデータベースには、別のデータベースが使われています。こちらは Bugzilla が使われていて、誰でもユーザ登録すれば、バグの参照や登録が可能になります。



今夜の紹介は以上です。

なお、OpenSolaris ポータルや、OpenSolaris コードブラウザは、SDC SQUARE で詳しく紹介されています。  
URL: [http://sdc.sun.co.jp/news/2008/08/tech\\_sol0808.html](http://sdc.sun.co.jp/news/2008/08/tech_sol0808.html)

<作成: サン・マイクロシステムズ 原口>